

# 東日本大震災に係わる提案・要望書

平成23年7月16日

社団法人 全国水和会

# 東日本大震災に係わる提案・要望について

平成23年3月11日に発生した大地震はわが国観測史上最大のM9.0を記録しこの地震により発生した津波は震源地近くの県はもとより北海道から関東まで広範囲に押し寄せ人的にも物的にも被害を受けました。我々人権団体として大震災直後からいろいろなボランティア等を行ってまいりました。その活動の中で感じた子供たちへの人権・心のケアについて勉強会、意見交換会を開きこの度、社団法人 全国水和会としての提案・要望書をまとめました。

## 1. 被災地および被災地より避難している子供たちへの人権問題

マスコミなどでも話題になりましたが被災地からの避難している子供へのいじめなどがあるため被災地、被災地の外でも学校など子供の周辺にいる大人で情報交換や勉強会、説明会などを中心に風評被害による差別やいじめをなくすように努める。

## 2. 被災地の学校等の方針について

被災した児童に対し心のケアとして専門のカウンセラーの派遣や通学路の安全性、快適性の確保。被災者の孤立化の防止。他県への一時転入など生徒の転校の支援。

## 3. 東京電力、政府などへの放射能汚染等の方針への問題

東京電力及び政府は放射能の基準値の統一された安全な数値を科学的に証明し放射性物質のセシウム、ヨウ素のみではなくコバルト、プルトニウム、ストロンチウムなどのすべての放射性物質の飛散量の発表を行うこと。

被災地すべての人々に被爆検査を行うこと。(こちらもセシウム、ヨウ素以外もすべて)子供、妊婦等の立ち寄り先のすべての除染を優先。